

コルネリオ会

(キリスト者自衛隊員の会)

ニューズレター No. 45

1985年9月

アジアの友

「詩篇133篇」

先日フィリピンのOCU会員という人から電話があった。フィリピン国防軍の大佐で麻薬関係の研修のため日本に来ているという事であった。早速お訪ねした所フィリピンOCUは最近結成されたそうで(本年6月)その会長からの手紙を持って来ておられた。それには結成の挨拶を兼ねて日本OCUの会則があったらほしいという旨があった。会則なら米国等のもっと完全なものがあるのではないかと言ったが米国のものは長すぎて適さないとの事で、コルネリオ会の会則を英訳して送る事になった。フィリピンは元々カトリック教国であるがプロテスタントも多数おり、1,000人位の会員は集まるだろうという話であった。カトリックとプロテスタントの信者は歴史的にも仲が良いとの事で、教義上の細かい点では異なる多数の集団からなっている現在の日本のキリスト教界においてもこれらのことは大いに参考になると思われた。来年の日本で東アジア大会にも何人かの代表を送り出せるだろうとの事であった。

東アジア大会についてはアジアの7ヶ国に対して実施計画の第一報が既に送られ、その返事が続々と集まりつつあることは別載のとおりであるがシンガポールからはハウ氏から返事があった。先のシンガポール大会で非常にお世話になった方であるが、日本の実情をも良く承知の上で日本での大会を待望しておられる様子がうかがわれる。シンガポールでは宣教活動も盛んであるし、特に若い層が活躍している事が頼もしい。軍人の停年も早いようで將軍と言っても年令の若い人が多い。又OCUの役員にしても交代がはげしく若い人達がどんどん進出している様子である。

工業的経済的な発展も目ざましいが、国が小さいので国防的に見ても回りを取巻く国との関連と調和を重視してその安定を保っている様子で、超大国の間にはさまれた我国の環境と似ているようである。

韓国は今やキリスト教国として大発展をしており昨年の世界大会でも或る点では今までになかった大規模な大会であったが、OCU会長も今回交代した様子である。新会長とは昨年の大会以来の面識でもあるし万事好都合な事と思われる。来年の大会にも50人位派遣出来るという事で、予想はしていたものの責任の重大さをおぼえる。この人達と交りつつ我々コルネリオ会員も大いに活躍してもらう事になるので、そのために祈ると共に多くの会員が集まりやすいよう大会運営を考えなければならない。

この大会に集まる外国の客は殆んど日本語が通じないし、英語も不十分な人達も多くいるので、その中で祝福のうちに主にある交りが出来るよう方法を考えなければならない。先のシンガポール大会の時の例によると晩禱という時間があり、ここでは各人がまざったグループに別れて交りと祈りをしたのであるが、私の入ったグループはシンガポール人2名、インドネシア人1名、米国人1名と日本人2名とであった。その中のシンガポールの若い陸軍大尉がてきぱきと司会をされた。シンガポールの教会ではこのような聖書研究が盛んなそうで、その点馴れており、自分の信仰をおしつけるのでもなく、一つの問題についても色々な方向から考えていこうというやり方のようなので、我々年配組は言葉の不自由なものも超越して面白い聖研が出来た。言葉一つ間違っても意志が通じないので重要な所は一語一語手振りも入れて確か合うという具合でそれを通して各人の考え方信仰の細かい多様性までわかるという状態となり、心からの深い交りが出来た事はこの大会での一番の思い出となっている。この場合各人からなる人員の組合せと司会のやり方については工夫がいるようである。

そして信仰は観念的なものではなく、生活に密着した人生そのものであることを知る事が出来た。

来年の東アジア大会には多数の日本のコルネリオ会員も参加することであろうからアジアの福音や諸問題についても忌憚のない話し合いを通して互の信仰を深め交わることが出来るのではないかと希望している。

「見よ兄弟が和合して共にいるのは、いかに麗しく楽しい事であろう」(詩133.1)

日米合同集会

定例の日米合同集会を下記によって行います。来年8月のAMCF東アジア大会の先駆として在日米軍OCFの人達との交りのうちにアジア大会の計画についても色々話合いたいと思っておりますので、多くの方々の参加を歓迎致します。特に関東一円の方はご家族同伴でお集り下さい。

記

日時 1985年11月23日(土) 10.00 ~ 15.00

場所 東京港区 新山王ホテル

〔渋谷からNo.85バスで天現寺橋下車
進行方向左側〕

行事 奨励, あかし, 自己紹介, 会食, 交歓

費用 約2,500円

AMCF 東アジア大会について

● 準備会

本年6月以降の大会のための準備会をつぎのように行った。

日時	場所	主要議題
6月14日(金)	新屋徳治師宅 (下落合)	日米合同集会について
6月21日(金)	長橋和彦兄宅 (大久保)	総合計画について
7月6日(土)	米軍横田基地	日米合同集会について
7月12日(金)	新屋徳治師宅	講師, 日程, 渉外について
8月16日(金)	長橋和彦兄宅	会場, 通訳, 献金について
9月2日(月)	長橋和彦兄宅	テーマ音楽, 讚美歌, 日程

● 大会日程について

次表のように決定した。

1986年AMCF 東アジア大会

日程表

8月	7 木	8 金	9 土	10 日
6				
7		早天祈禱会と 朝食		朝食
8				
9		聖書講演		都内の教会 に於ける礼 拝に参加
10				
11				
12		休憩		
13		昼食		
14	到着と受付	自由時間		
15		国際報告会	都内見学 (事務 連絡会)	
16	開会礼拝	自由時間と 主にある交 わり	送別礼拝	
17				
18		休憩		
19	歓迎夕食会	夕食	送別夕食会	
20		自由時間と主にある交わり		
21				
22		夕べの祈り		

● 東アジア各国からのメッセージ

1. 韓国 OCU会長 海軍大將(退役) 金栄寛
ハレルヤ, 主イエスキリストのみ名によって, 先ず1986年の東アジア大会が日本で行なわれる事になった事お祝申上げます。またこの大会の開催のため労しておられる貴国の全会員の上に心からの敬意を表します。同時に1984年の韓国の世界大会が神の恵みと全国から集められた人達の助けによって成し遂げられた事について感謝致します。韓国OCUの退役士官連盟は毎週金曜日に朝食祈禱会を持っておりますが, 我々は隔週毎に1986年に開かれる日本大会のために祈り続けております。我々は特に日本大会を熱心に希望しておりますし, この大会に出席を希望している人の数も我々の予想を超えているように思われます。現在出席希望者は現役士官15名, 予備士官35名で合計約50名おります。しかし現役の士官が韓国外

の大会に出席するためには韓国国防大臣からの特別許可を必要とする事になっております。このようなわけで現役士官が出席出来るように貴会からの招待状に現役士官の出席を必要とする旨を強調して頂けたら幸と存じております。

神の大きな恵みと平安とが貴会全会員とご家族の上にありますように。

2. シンガポール 陸軍大佐(退役) ジミー・ハウ

私があなたをおぼえて祈っている事を知ってもらいたい。1986年には日本OCUがアジア大会を主催して下さる事を聞いて喜んでいました。

我々は喜びをもって貴国OCUについて更に進んだ計画が出来る事を待ち望んでおります。

我々がもう直ぐ再会出来る事を神は喜んで下さるでしょう。

私の愛を日本にいる皆様に伝えて下さい。

神の豊かな祝福がありますように。

主の愛にあって。

3. マレーシア 陸軍中佐 ゴブン・パー

日本OCUのすべての兄弟姉妹に対し尊い救い主イエスキリストのみ名によって熱い親愛を表します。我々マレーシア国に多くの関係がある美しい日本国で次回のAMCFアジア大会を開くという感激的なニュースを知らせる手紙有難うございます。貴国大会に出席を希望する人の数は4人で次のとおりです。

ゴブン・パー陸軍中佐夫妻

ショー・アイリョン空軍少佐夫妻

主のもとこの偉大な会議の組織化のために奉仕の労をとっておられる方々のために祈っております。これは大きな行事であり、主なる神のみが助ける事の出来るものです。何となれば我々は主の御栄光のために実施するからです。主をあがめよ。

主のお恵みを祈ります。ハレルヤ

4. フィリピン OCU会長 S.C. マルチラノ大佐

エスパルチネツ牧師からお手紙を受取り、返事をするようにと言われました。

それは私が神の恵みと兄弟達の声とによって本年6月新しく結成されたフィリピン軍のクリスチャン将校会の会長に選出されたからです。

我々は1986年8月のAMCF東アジア大会に対する貴招待状について考慮しております。経済条

件が許せば多分1名乃至2名の代表を送り出せると思っております。我々の事を考慮して下さい有難うございます。

主の恵みが豊かでありますように、又我々の軍に所属する人達の間で主のみ言葉の学びが促進され、且つクリスチャンとしての交りが活潑になりますように祈って下さるようお願いいたします。

5. 香港 M. チェスター大尉

東京で1986年8月7~10日行われるAMCF東アジア大会への招待有難うございます。不幸私はその時英国に転属となるので、英国OCU本部にその事報告します。そこから直接お返事する事になると思います。この大会に参加する機会を持って共に成功の喜びを持ちたかったのですが残念です。すべての参加者の上に良い時となりますよう祈っております。

◎今後の準備のため検討を要する主な事項

1. 日程手順について

大会を成功のうちに行うためには更に日時をふんだ実施手順を作成する必要があり、特に外国客の空港到着から空港から出発するまでの行動について人員の配置等リハーサルを含んだ準備をしなければならぬ。

2. 進行計画について

自由時間にはとにかく同国人だけで集まることになりやすいので、各国人との交わりが出来るように日本人会員が配慮しなければならぬ。

3. 讚美について

大会テーマ音楽は既に着手されているが会衆讚美のためにも大会にふさわしい国際的な讚美歌を選ぶ必要がある。又、集会の合間に出来れば国内のゴスペルホークグループ聖歌隊等の奉仕を頂けるよう祈っている。

4. 国内見学

遠来の外国参加者は、大会後日本観光を希望する人達もあると予想されるので国内旅行会社への斡旋連絡を行なわなければならない。

5. ガイドブックの作成

大会全般に関し、又市内外出に不自由のない程度のガイドブックの作成が必要である。

6. 参加費について

従来国際大会での前例をも考慮して今回は宿泊費として外国人1人100ドルの徴集を予定している。

● ボランティア募集

今回の東アジア大会はコルネリオ会としても多数の外国人客を接待する初めての大会であるが、数回行なわれるメッセージについては既に教職の方々のご好意により満たされていることは感謝である。又出席するコルネリオ会員は大会当日には殆んど全員の方に奉仕の役割を持って頂く事になると思われるが、大会前後にも色々な業務があるので、そのためのボランティアとして、会員、家族、所属教会の教会員を含めて次のような御奉仕をお願いしたい。

1. 大会日程進行のための業務

進行係、案内係、接待係、司会係、通訳係 等

2. 外国客到着までの案内

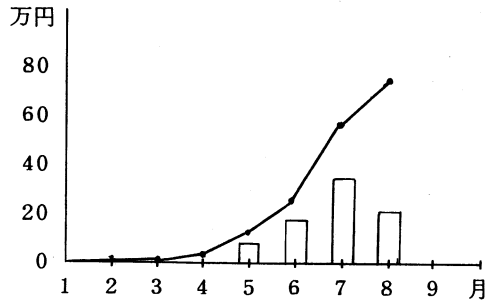
外国客は数ヶ国から何回かの飛行便で来日する。特に韓国、シンガポールからはまとまった人数で到着するので、ターミナルから会場までの輸送を誘導する。

3. 教会への案内

8月10日の日曜日には市内各地の教会へ分散出席するので、教会への誘導、昼食のあっせん、解散までの世話をする。

● 献金の状況

東アジア大会献金の8月末までの状況を図に示す。棒線は各月の献金額、曲線は各月の累計を示す。



● 献金者芳名 (敬称略、順不同)

- 5月 飯塚正実、石坂朝弘、望月錦吾、三島滋、今井健次、谷岡博志、瀬崎肇、井島幹夫、藤田勝男、武田貴美、今村和男、道旗信千代
- 6月 山中朋二郎、大橋忠道、玉井佐源太、今井健次、下桑谷浩、安永稔、井島幹夫、マクドナルド
- 7月 伊沢勲、中野正治、峯崎康忠、山野恒二、今井健次、今井崇博、望月錦吾、矢田部稔、滝口巖太郎、峯野龍弘、山口利勝、山下貴久、足立順二郎、長橋晴子、蔵谷三郎、海野幹郎
- 8月 足立順二郎、今井健次、小山田光成、石川信隆、長橋晴子、下桑谷浩

● 会員からの通信が多く来ておりますが次号にのせます。

コルネリオ会事務局 (JOCU)

東京都東村山市富士見町 2-12-34

TEL 0423-93-6902

振替 東京 3-87577

(発行責任者 今井健次)